

# 福岡工業大学学則

## 第1章 総 則

### 第1節 目 的

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、工業及び環境に関する専門の学術を研究、教授し、もって科学の進歩向上に寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第1条の2 教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 実施方法については、別に定める。

### 第2節 組 織

(学部、学科及び学生定員)

第2条 本学に、次の学部を置く。

(1) 工学部

(2) 情報工学部

(3) 社会環境学部

2 工学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	360人
生命環境化学科	90人	360人
知能機械工学科	110人	440人
電気工学科	90人	360人
計	380人	1,520人

3 情報工学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
情報工学科	130人	520人
情報通信工学科	90人	360人
情報システム工学科	90人	360人
システムマネジメント学科	65人	260人
計	375人	1,500人

4 社会環境学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
社会環境学科	160人	30人	700人

(教育研究上の目的)

第2条の2 前条に定める各学科及び第39条に定める教職課程の教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

(大学院)

第2条の3 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関し必要な事項は、別に定める。

(附属図書館)

第3条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規程は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第4条 本学に、次の学内共同教育研究施設を置く。

名 称		目 的
総 合 研 究 機 構	エレクトロニクス研究所	エレクトロニクス並びに関連する分野の研究を行うと共に、学内における研究の奨励・援助を図り、併せて地域の産業の発展に協力する。
	情報科学研究所	情報科学並びに関連する分野の研究を行うと共に、本学の情報関連分野の研究の奨励・援助を図り、併せて地域産業の発展に協力する。
	環境科学研究所	環境並びに関連する分野の研究を行うと共に、学内における研究の奨励・援助を図り、併せて環境管理の側面より地域産業の発展に協力する。
工作センター		工作機械装置等を管理運用し、研究及び教育の用に供すると共に、加工・工作技術の向上開発を図り、併せて科学技術の発展に資する。
教養力育成センター		全学の教養教育カリキュラムの編成、運営並びに教育実践の改善に取り組む。

(FD 推進機構)

第4条の2 本学に、FD 推進機構を置く。

2 FD 推進機構に関し必要な事項は、別に定める。

(総務部・財務部・入試広報部・学務部・就職部)

第5条 本学に、総務部、財務部、入試広報部、学務部及び就職部を置く。

### 第3節 職員の種類

(職員の種類)

第6条 本学に、学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、事務職員及び技術職員を置く。

2 教育研究の円滑な実施に必要な業務を行うために、助手を置くことができる。

### 第4節 教授会

(構成)

第7条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教で構成する。

(審議事項及び運営)

第8条 教授会は学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要であると認めるもの

2 教授会は前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

3 教授会の運営に関し、必要な事項は福岡工業大学教授会規程により定める。

## 第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を次の2期に分ける。

前 期 4月1日より9月30日まで

後 期 10月1日より翌年3月31日まで

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 本学の開学記念日 11月5日

(4) 春季休業 3月21日から4月10日まで

(5) 夏季休業 8月1日から9月30日まで

(6) 冬季休業 12月25日から翌年1月9日まで

2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

## 第2章 学 部

### 第1節 修業年限等

(修業年限)

第12条 学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第13条 学生は、8年を超えて在学することができない。

ただし、第19条第1項の規定により入学した学生は、同19条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

### 第2節 入 学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 特別の必要があり、教育上支障がないときは、入学の時期を学期の始めとすることができる。

(入学の資格)

第15条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力が

あると認めたる者

- 2 前項に掲げる者のほか、高等学校に在学し校長が推薦する者は、科目等履修生として入学を認めることがある。

(入学の出願)

第 16 条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて、指定の期日までに願出しなければならない。

(入学者の選考)

第 17 条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、教授会の議を経て選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第 18 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(転入学、編入学)

第 19 条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者又は退学した者

(2) 短期大学又は高等専門学校等を卒業した者

- 2 前項の規定により、入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

### 第 3 節 休学、復学、転学、転学部、転学科、留学、退学、除籍及び再入学

(休学)

第 20 条 疾病その他やむを得ない理由により、4ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

(休学期間)

第 21 条 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して2年を超えることができない。

- 3 休学期間は、第 13 条の在学期間に算入しない。

(復学)

第 22 条 休学期間中に、その理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第 23 条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。ただし、在学期間1年未満の学生が新たに大学を受験しようとするときは、退学しなければならない。

(転学部及び転学科)

第 23 条の 2 転学部及び転学科は、志願する学生本人の願出により、教授会の議を経て学長がこれを許可する。

- 2 転学部及び転学科に関して必要な事項は、別に定める。

(留学)

第 24 条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、1年を限度として第 37 条に定める在学期間に含めることができる。

(退学)

第 25 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第 26 条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

- (1) 授業料その他の納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第 13 条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第 21 条に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (4) 死亡又は長期にわたり行方不明の者

(再入学)

第 27 条 第 25 条及び第 26 条第 1 号の規定により退学し、又は除籍された者については、本人の願い出により、教授会の議を経て、学長がこれを許可する。

#### 第 4 節 教育課程及び履修方法等

(授業科目及び単位)

第 28 条 授業科目は、教養力育成科目、専門基礎科目、及び専門教育科目に分ける。但し、社会環境学部については専門基礎科目の区分を設けない。

- 2 授業科目は、必修科目及び選択科目に分ける。
- 3 授業科目の種類、必修、選択科目及び単位数等は、別表 2 のとおりとする。

(単位の算出方法)

第 29 条 授業科目の単位の算出は、1 単位の学修時間を教室内及び教室外を合わせて 45 時間とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(1 年間の授業時間)

第 30 条 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則とする。

(履修年次及び方法)

第 31 条 学生は、別に定める履修要項に従い履修しなければならない。

(単位の授与)

第 32 条 授業科目を履修し、その試験に合格した学生には、所定の単位を与える。ただし、卒業研究、演習、実験、実習、及び実技等の授業科目については、試験以外の方法で、学修の成果を評価して単位を与えることができる。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 33 条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学（以下この項において「他大学等」という。）との協議に基づき、学生に当該他大学等の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により修得した授業科目の単位については、30 単位を超えないものとし、教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。
- 3 前 2 項の規定は、学生が外国の大学又は外国の短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 34 条 教育上有益と認めるときは、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て、単位を与えることができる。

- 2 前項の規定により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第 33 条第 2 項の単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 35 条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学

又は短期大学を含む。)において履修した授業科目及び修得した単位(第43条の規定により履修した授業科目及び修得した単位を含む。)については、教授会の議を経て、卒業の要件となる授業科目及び単位として認定することができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て卒業の要件となる単位を与えることができる。

3 前2項の規定により認める単位は、編入学、転入学等の場合を除き、30単位を超えないものとする。

(成績の評価)

第36条 授業科目の試験の成績は、優、良、可及び不可の四段階をもって表示し、優、良及び可を合格とする。但し、教育上有益と認めるときは、優の上位に秀を設けることができる。

## 第5節 卒業及び学位授与

(卒業)

第37条 本学の学部にて4年(第19条第1項及び第27条の規定により入学した者については、それぞれ定められた在学すべき年数)以上在学し、第28条第3項別表2に定める所定の授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した学生については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

(1) 工学部

イ 教養力育成科目は、基礎科目から10単位以上、キャリア科目から4単位以上、外国語科目から8単位以上、ウェルネス科目から2単位以上、教養力育成科目から2単位以上、合計26単位以上。

ロ 専門基礎科目と専門教育科目は、必修科目の全部を含め、92単位以上。(電子情報工学科は100単位以上)

ハ 教養力育成科目、専門基礎科目及び専門教育科目から14単位以上。(電子情報工学科は6単位以上)

ニ 総計 132単位以上。

(2) 情報工学部

イ 教養力育成科目は、基礎科目から10単位以上、キャリア科目から4単位以上、外国語科目から8単位以上、ウェルネス科目から2単位以上、合計24単位以上。

ロ 専門基礎科目と専門教育科目は、必修科目の全部を含め、84単位以上。

ハ 教養力育成科目、専門基礎科目、及び専門教育科目から16単位以上。

ニ 総計 124単位以上。

(3) 社会環境学部

イ 教養力育成科目は、基礎科目から10単位以上、キャリア科目から4単位以上、外国語科目から8単位以上、ウェルネス科目から2単位以上、その他教養力育成科目から2単位以上、合計26単位以上。

ロ 専門教育科目は、基礎科目から12単位、基幹科目から6単位、基幹科目(前記6単位を除く)又は展開科目から46単位以上、ゼミナールから16単位、必修科目の全部を含め、80単位以上。

ハ 教養力育成科目、専門教育科目から18単位以上。

ニ 総計 124単位以上。

2 技術者教育を目的とする教育プログラムの修了認定を希望する学生の卒業に関する必要な事項は、別に定める。

(学位授与)

第 38 条 前条で卒業を認定した者については、教授会の議を経て、学長が学士の学位を授与し「卒業証書・学位記」を交付する。

2 学位授与に関し必要な事項は、別に定める。

## 第 6 節 教員の免許

(教員の免許状取得のための所要資格)

第 39 条 教育職員免許法の定めるところにより、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状を得ようとする者は、第 37 条に規定する科目のほか、別表 3 に規定する科目の単位を修得しなければならない。

2 前項の所要条件を満たし、取得できる教員の免許状の種類は次のとおりとする。

学部	学 科	免許状の種類 (免許教科)
工 学 部	電子情報工学科 生命環境化学科 知能機械工学科 電気工学科	高等学校教諭一種免許状 (工業)
	生命環境化学科	中学校教諭一種免許状 (理科) 高等学校教諭一種免許状 (理科)
情 報 工 学 部	情報工学科 情報通信工学科 情報システム工学科 システムマネジメント学科	中学校教諭一種免許状 (数学) 高等学校教諭一種免許状 (数学)
	情報工学科 情報通信工学科 情報システム工学科 システムマネジメント学科	高等学校教諭一種免許状 (情報)
境 学 部 社 会 環 境	社会環境学科	中学校教諭一種免許状 (社会) 高等学校教諭一種免許状 (公民)

## 第 3 章 通 則

### 第 1 節 賞 罰

(表彰)

第 40 条 表彰に値する行為があった学生は、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第 41 条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがない者

(2) 正当の理由がなく出席状況の著しく悪い者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

### 第 2 節 厚生施設

(学生寮)

第42条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関し必要な事項は、別に定める。

### 第3節 科目等履修生、研究生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第43条 本学において、1又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を授与することができる。

2 科目等履修生に関し、必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第44条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第45条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として1年次に入学、2年次、3年次に編入学、又は科目等履修生若しくは研究生として入学を許可することができる。

2 前項の外国人留学生に対しては、第28条に定める授業科目のほか、日本語及び日本事情の科目を置く。

3 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

### 第4節 検定料、入学金及び授業料等

(授業料等)

第46条 学生は、授業料等(以下この節において、授業料、施設設備費、実験実習費、図書費及び学生厚生費を含む。)を納入しなければならない。

(検定料、入学金及び授業料等の額)

第47条 本学の検定料、入学金及び授業料等の額は別表4のとおりとする。

(授業料等の徴収)

第48条 授業料等は、年額の2分の1ずつを次の2期に分けて徴収する。

区	分	納	期
第1期	(4月1日から9月30日まで)	4月20日まで	
第2期	(10月1日から翌年3月31日まで)	9月30日まで	

(休学期間中の授業料等)

第49条 休学を許可された者の授業料等は、休学した月の翌月から復学した月の前月までの額を免除する。

(退学、除籍及び停学の場合の授業料等)

第50条 1期又は2期途中で退学し、又は除籍された者の授業料等は、当該期分を徴収する。

2 停学期間中の授業料等は、徴収する。

(授業料等の免除及び徴収の猶予)

第51条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又はその他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料等の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することができる。

2 奨学生制度については、別に定める。

(科目等履修生、研究生等の検定料、入学金及び授業料等)



第 52 条 科目等履修生、研究生及び外国人留学生の科目等履修生、同研究生の検定料、入学金及び授業料等については、別に定める。

(納付した授業料等)

第 53 条 納付された検定料、入学金及び授業料等は返付しない。

### 第 5 節 公開講座

(公開講座)

第 54 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することがある。

### 第 6 節 その他

第 55 条 この学則の改正は、教授会の議を経なければならない。

### 附 則

学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、昭和 61 年度から平成 11 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	総 定 員
電 子 工 学 科	1 2 0 人	4 8 0 人
電子材料工学科	8 0 人	3 2 0 人
電子機械工学科	1 2 0 人	4 8 0 人
管 理 工 学 科	1 0 0 人	4 0 0 人
電 気 工 学 科	1 2 0 人	4 8 0 人
情 報 工 学 科	1 8 0 人	7 2 0 人

### 附 則

- 1 福岡工業大学学則（昭和 38 年 4 月 1 日から施行）の全部を改正し、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日改正する。
- 3 この学則は、平成元年 4 月 1 日改正する。
- 4 この学則は、平成 2 年 4 月 1 日改正する。

### 附 則

- 5 この学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。  
ただし、学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、平成 3 年度から平成 1 1 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員
電 子 工 学 科	130 人
電子材料工学科	120 人
電子機械工学科	140 人
管 理 工 学 科	120 人
電 気 工 学 科	130 人
情 報 工 学 科	200 人

### 附 則

- 6 この学則は、平成 3 年 9 月 1 日から施行する。
- 7 この学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 8 この学則は、平成 4 年 1 0 月 1 日から施行する。
- 9 この学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 10 この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

11 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

12 この学則は、平成8年4月1日から施行する。

13 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電 子 工 学 科	130 人	520 人
電 子 材 料 工 学 科	120 人	480 人
電 子 機 械 工 学 科	140 人	560 人
電 気 工 学 科	130 人	520 人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120 人	480 人
情 報 通 信 工 学 科	80 人	320 人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60 人	240 人
管 理 情 報 工 学 科	60 人	240 人

14 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電 子 工 学 科	130 人	520 人
機 能 材 料 工 学 科	120 人	480 人
電 子 機 械 工 学 科	140 人	560 人
電 気 工 学 科	130 人	520 人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120 人	480 人
情 報 通 信 工 学 科	80 人	320 人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60 人	240 人
管 理 情 報 工 学 科	60 人	240 人

15 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成11年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電 子 工 学 科	130 人	520 人
機 能 材 料 工 学 科	120 人	480 人
知 能 機 械 工 学 科	140 人	560 人
電 気 工 学 科	130 人	520 人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120 人	480 人
情 報 通 信 工 学 科	80 人	320 人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60 人	240 人
管 理 情 報 工 学 科	60 人	240 人

附 則

16 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	120人	510人	115人	495人	105人	470人
機 能 材 料 工 学 科	110人	470人	100人	450人	90人	420人
知 能 機 械 工 学 科	140人	560人	130人	550人	130人	540人
電 気 工 学 科	120人	510人	115人	495人	105人	470人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	100人	440人	90人	410人
機 能 材 料 工 学 科	80人	380人	80人	350人
知 能 機 械 工 学 科	120人	520人	110人	490人
電 気 工 学 科	100人	440人	90人	410人

(2) 情報工学部

学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

附 則

17 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	110人	490人	100人	460人
機 能 材 料 工 学 科	80人	430人	80人	390人
知 能 機 械 工 学 科	120人	540人	110人	510人
電 気 工 学 科	100人	480人	90人	440人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	90人	420人	80人	380人
機 能 材 料 工 学 科	80人	350人	80人	320人
知 能 機 械 工 学 科	100人	470人	80人	410人
電 気 工 学 科	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

附 則

18 この学則は、平成14年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	100人	460人	90人	420人	80人	380人
機能材料工学科	80人	390人	80人	350人	80人	320人
知能機械工学科	110人	510人	100人	470人	80人	410人
電気工学科	90人	440人	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

附 則

19 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成15年度及び平成16年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	420人	80人	380人
機能材料工学科	80人	350人	80人	320人
知能機械工学科	100人	470人	80人	410人
電気工学科	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人	60人	240人

附 則

20 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	380人	80人	350人	80人	330人
機能材料工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
知能機械工学科	100人	430人	100人	410人	100人	400人
電気工学科	80人	350人	80人	330人	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	80人	260人	80人	280人	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

附 則

21 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成17年度から平成18年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	350人	80人	330人
生命環境科学科	80人	320人	80人	320人
知能機械工学科	100人	410人	100人	400人
電気工学科	80人	330人	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	80人	280人	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人	60人	240人

附 則

22 この学則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

23 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成18年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成18年度	
	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	330人
生命環境科学科	80人	320人
知能機械工学科	100人	400人
電 気 工 学 科	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成18年度	
	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人
情報システム工学科	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人

附 則

24 この学則は、平成18年5月1日から施行する。

附 則

25 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

26 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

27 この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

28 この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

29 この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

30 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

31 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

32 この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

33 この学則は、平成26年8月1日から施行する。

附 則

34 この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

35 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項、第3項及び第4項の規定にかかわらず、平成28年度から平成29年度までの収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成28年度		平成29年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	340人	90人	350人
生命環境科学科	90人	340人	90人	350人
知能機械工学科	110人	420人	110人	430人
電気工学科	90人	340人	90人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成28年度		平成29年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	130人	500人	130人	510人
情報通信工学科	90人	340人	90人	350人
情報システム工学科	90人	340人	90人	350人
システムマネジメント学科	65人	250人	65人	255人

(3) 社会環境学部

学 科	平成 28 年度			平成 29 年度		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
社会環境学科	160人	30人	680人	160人	30人	690人

附 則

36 この学則は、平成28年5月1日から施行する。

附 則

37 この学則は、平成30年4月1日から施行する。



別表1 学則第2条の2に係る各学科及び教職課程の教育研究上の目的

学 科	教育研究上の目的
電子情報工学科	現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。
生命環境化学科	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。
知能機械工学科	情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。
電 気 工 学 科	日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。
情 報 工 学 科	コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システムLSIなどの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。
情報通信工学科	今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。
情報システム工学科	今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。
システムマネジメント学科	高度に情報化、国際化が進む現代社会において、企業の生産管理技術と情報管理技術について、経営、生産、メディアの観点から基礎的な素養を身につける教育を行い、それらの知識に裏付けされた人間哲学に基づいてシステムのマネジメントを行える人材の養成を目的とする。
社 会 環 境 学 科	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。
教 職 課 程	教職の意義、教育の原理及び人間の発達を理解し、将来の教育者としての専門的知識、方法技術さらに実践的能力を高めるとともに、使命感及び倫理観と教育的愛情を育む人材の養成を目的とする。

別表 2

学則第 28 条第 3 項に係る授業科目の種類、必修、選択科目及び単位数等について

1. 工学部

(1) 教養力育成科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考		
		1年	2年	3年	4年	計			
基礎科目	—	知 と 教 養	2				2	選択	18科目中5科目、10単位以上取得。 ただし、外国人留学生は20科目中5科目、10単位以上取得。  *外国人留学生科目 *外国人留学生科目
	文化・社会	日 本 国 憲 法	2★	2★			2	選択	
		市 民 生 活 と 法	2★	2★			2	選択	
		現 代 倫 理	2★	2★			2	選択	
		コミュニケーションの心理学	2★	2★			2	選択	
		日 本 文 学	2★	2★			2	選択	
		歴 史 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		九 州 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		地 理 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		社 会 学 入 門	2★	2★			2	選択	
		経 済 学 入 門	2★	2★			2	選択	
	異 文 化 理 解	2★	2★			2	選択		
	地 域 創 生 入 門	2★	2★			2	選択		
	日 本 事 情 I	2				2	選択		
日 本 事 情 II	2				2	選択			
自然・情報	生 命 と 生 態 系	2★	2★			2	選択		
	地 球 と 環 境	2★	2★			2	選択		
	物 質 と 化 学	2★	2★			2	選択		
	自 然 と 科 学	2★	2★			2	選択		
	コンピ。ュータ入門	2★	2★			2	選択		
キャリア科目	キ ャ リ ア 形 成	2				2	必修		
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 基 礎	2				2	必修		
	日 本 語 表 現 法		2			2	選択		
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン 。 I		2			2	選択		
	イ ン タ ー ナ シ ョ ン 。 II			2		2	選択		

区分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考
		1年	2年	3年	4年	計	
外国語 科目	Advanced English A	2				2	選択 20科目中4科目、 8単位以上取得、 うち1,2年次の 英語科目8単位を 含む。 ただし、外国人留 学生は22科目中 4科目、8単位以 上、うち1,2年 次の英語科目8単 位を含む。  *外国人留学生科目 *外国人留学生科目
	Advanced English B	2				2	
	Advanced English C		2			2	
	Advanced English D		2			2	
	E n g l i s h A	2				2	
	E n g l i s h B	2				2	
	E n g l i s h C		2			2	
	E n g l i s h D		2			2	
	Academic English A			2		2	
	Academic English B			2		2	
	Academic English C				2	2	
	Academic English D				2	2	
	Conversation A			2		2	
	Conversation B			2		2	
	Conversation C				2	2	
	Conversation D				2	2	
	中 国 語 I			2		2	
	中 国 語 II			2		2	
韓 国 語 I			2		2		
韓 国 語 II			2		2		
日 本 語 I	2				2		
日 本 語 II	2				2		
ウェルネス科目	ウェルネス基礎	2				2	必修 選択
	ウェルネス応用	2				2	

(注) ☆印はいずれかの学年で履修可能。

(3) 専門基礎科目及び専門教育科目

(ア) 電子情報工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	電子情報基礎数学	4				4	必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修
	電子情報数学	4				4	
	線形代数Ⅰ		2			2	
	線形代数Ⅱ		2			2	
	微分方程式		2			2	
	初等統計学			2		2	
	物理概論	2				2	
	物理Ⅰ	2				2	
物理Ⅱ		2			2		

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
電子情報基礎科目	電子工学基礎	2				2	必修 必修 必修 必修 必修 必修
	論理回路	2				2	
	電磁気学Ⅰ	2				2	
	電磁気学Ⅱ		2			2	
	電子計測		2			2	
	制御工学			2		2	
デバイス系科目	電子デバイスⅠ		2	2		2	必修 必修 必修 必修
	電子デバイスⅡ			2		2	
	集積回路工学			2		2	
	光エレクトロニクス			2		2	
回路系科目	電気回路Ⅰ	2				2	必修 必修 必修 必修 必修 必修
	電気回路Ⅱ		2			2	
	電気回路Ⅲ		2			2	
	電子回路Ⅰ		2			2	
	電子回路Ⅱ		2			2	
	電子回路応用			2		2	
電気電子回路実習			2		2		

情報処理系科目	プログラミング I	2				2	必	修
	プログラミング II	2				2	必	修
	プログラミング演習		2			2	必	修
	応用プログラミング I		2			2	選	択
	デジタル信号処理			2		2	必	修
	応用プログラミング II			2		2	選	択
	情報ネットワーク基礎と演習			2		2	選	択
	応用デジタル信号処理			2		2	必	修
共通科目	技術者倫理	2				2	選	択
	技術英語		2			2	選	択
	プレゼンテーション			2		2	選	択
	情報技術資格		2			2	選	択
	無線技術資格		2			2	選	択
	組込み基礎			2		2	必	修
	電子情報工学入門	2				2	必	修
	物理・電子情報基礎実験			2		2	必	修
	電子情報実験 I				2	2	必	修
	電子情報実験 II	2			2	2	必	修
	電子情報実験 III					2	必	修
	創成実験	2				2	必	修
	電子工学総合			2		2	必	修
	情報工学総合			2		2	必	修
	コンピュータ工学	2				2	必	修
コンピュータシステム	2				2	必	修	
知的情報処理			2		2	選	択	
卒業研究				6	6	必	修	

## (イ) 生命環境化学科

## A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	基礎数学	2				2	必修
	解析Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅱ	2				2	必修
	応用数学	2				2	必修
	統計学		2			2	選択
	数値解析		2			2	選択
	基礎物理学	2				2	必修
	物理学Ⅰ	2				2	必修
	物理学Ⅱ		2			2	必修
	生物物理学		2			2	選択
	物理学実験			2		2	選択
	基礎化学	1				1	選択
	化学Ⅰ	2				2	必修
	化学Ⅱ	2				2	必修
	化学実験	2				2	必修
	基礎生物学	1				1	選択
	生物学	2				2	必修
	生物学実験		2			2	必修
地球科学		2			2	選択	
地球科学実験				2	2	選択	
コンピュータ言語		2			2	必修	
科学実験入門	2				2	必修	

B. 専門教育科目

区 分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考		
		1年	2年	3年	4年	計			
生命環境化学基礎	生命環境化学ゼミナールⅠ			1		1	必	修	
	生命環境化学ゼミナールⅡ			1		1	必	修	
	環境エネルギー資源化学特論	2				2	必	修	
	生物資源利用学概論	2				2	必	修	
	物理化学Ⅰ		2			2	必	修	
	物理化学Ⅱ		2			2	必	修	
	物理化学Ⅲ			2		2	必	修	
	物理化学Ⅰ演習		1			1	必	修	
	物理化学Ⅱ演習		1			1	必	修	
	分析化学		2			2	必	修	
	機器分析化学		2			2	必	修	
	環境分析化学		2			2	必	修	
	機器分析化学実験		2			2	必	修	
	有機化学Ⅰ		2			2	必	修	
	有機化学Ⅱ		2			2	必	修	
無機化学				2	2	必	修		
環境化学Ⅰ		2			2	選	択		
環境化学Ⅱ		2			2	選	択		
生物化学Ⅰ		2			2	必	修		
生物化学Ⅱ		2			2	選	択		
生命環境化学専門	物質系科目	エネルギー循環工学			2		2	選	択
		無機固体化学			2		2	選	択
		固体物質工学			2		2	選	択
		資源循環工学			2		2	選	択
		環境浄化工学			2		2	選	択
		環境物質工学実験			2		2	選	択
		化学工学Ⅰ			2		2	選	択
		化学工学Ⅱ			2		2	選	択
	電気化学			2		2	選	択	
ナノマテリアル化学			2		2	選	択		
生命環境化学専門	共通科目 物質・生命	高分子工学			2		2	選	択
		コロイド化学			2		2	選	択
生命環境化学専門	生命系科目	酵素化学			2		2	選	択
		応用微生物学			2		2	選	択
		分子生物学			2		2	選	択
		遺伝子工学			2		2	選	択
		環境生命工学実験			2		2	選	択
		生物有機化学			2		2	選	択
		栄養化学			2		2	選	択
食品学実験			2		2	選	択		

食品基礎科目	食品化学			2		2	選 選 選 選 選 選	択 択 択 択 択 択
	食品分析学			2		2		
	食品衛生学			2		2		
	毒性学			2		2		
	環境衛生学				2	2		
	微生物学	2				2		
食品微生物学			2		2			
アドバンス科目	先端生命環境化学演習	2				2	選 選 選 選 選	択 択 択 択 択
	先端生命環境化学実験Ⅰ		2			2		
	先端生命環境化学実験Ⅱ		2			2		
	技術英語			2		2		
	生産技術倫理			2		2		
卒業研究	卒業研究				6	6	必修	



## (ウ) 知能機械工学科

## A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	数学基礎演習	2				2	必修
	線形代数Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅰ及び演習	4				4	必修
	線形代数Ⅱ		2			2	必修
	解析Ⅱ		2			2	必修
	微分方程式Ⅱ		2			2	必修
	解析Ⅲ		2			2	選択
	確率と統計		2			2	選択
	物理基礎演習	2				2	必修
	物理学Ⅰ及び演習	4				4	必修
機械物理学実験	2				2	必修	
物理学Ⅱ		2			2	必修	

## B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
機械基礎学	ものづくり基礎実習	4				4	必修
	熱力学Ⅰ		2			2	必修
	熱力学Ⅱ			2		2	必修
	伝熱工学Ⅱ			2		2	選択
	流体力学Ⅰ		2			2	必修
	流体力学Ⅱ			2		2	必修
	機械力学Ⅰ		2			2	必修
	機械力学Ⅱ			2		2	必修
知能機械設計学	材料力学Ⅰ		2			2	必修
	基礎製図Ⅰ	2				2	必修
	基礎製図Ⅱ	2				2	必修
	知能機械設計Ⅰ		4			4	必修
	知能機械設計Ⅱ			4		4	必修
知能生産工学	CADシミュレーション		2			2	必修
	トライボロジー			2		2	選択
	機械材料		2			2	必修
	機械工作法Ⅰ		2			2	必修
機械工作法Ⅱ			2		2	選択	
デジタルエンジニアリング		2			2	選択	

知能計測制御工学	電気基礎学 知能機械制御工学 ロボット工学 計測工学		2			2 2 2	必修 必修 選択 選択
共通科目	知能機械基礎実験Ⅰ 知能機械基礎実験Ⅱ 工業技術史 技術者倫理 産業人基礎教育 知能機械制御言語及び演習 知能機械創成実験	2	2 2 2 2 2			2 2 2 2 2 2	必修 必修 必修 必修 選択 選択 必修
卒業研究	卒業研究				6	6	必修

(工) 電気工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	電気基礎数学	2				2	必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修
	解析 I	2				2	
	解析 II	2				2	
	線形代数 I	2				2	
	線形代数 II		2			2	
	解析 III		2			2	
	解析 IV		2			2	
	電気基礎物理学	2				2	
	力学 I		2			2	
	力学 II	2				2	
熱力学	2				2		

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
電気基礎学	電気学 I	2				2	必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修
	電気学 II	2				2	
	電気学 III		2			2	
	電気回路 I	2				2	
	電気回路 II	2				2	
	電気回路 III		2			2	
	電気回路 IV		2			2	
	電気計測		2			2	
	基礎物質工学	2				2	
	半導体工学		2			2	
	電気基礎学概論			2		2	



## 2. 情報工学部

### (1) 教養力育成科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考		
		1年	2年	3年	4年	計			
基礎科目	—	知 と 教 養	2				2	選択	17科目中5科目、10単位以上取得。 ただし、外国人留学生は19科目中5科目、10単位以上取得。  *外国人留学生科目 *外国人留学生科目
	文化・社会	日 本 国 憲 法	2★	2★			2	選択	
		市 民 生 活 と 法	2★	2★			2	選択	
		現 代 倫 理	2★	2★			2	選択	
		コミュニケーションの心理学	2★	2★			2	選択	
		日 本 文 学	2★	2★			2	選択	
		歴 史 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		九 州 学	2★	2★			2	選択	
		地 理 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		社 会 学 入 門	2★	2★			2	選択	
		経 済 学 入 門	2★	2★			2	選択	
	異 文 化 理 解	2★	2★			2	選択		
	地 域 創 生 入 門	2★	2★			2	選択		
	日 本 事 情 I	2				2	選択		
日 本 事 情 II	2				2	選択			
自然	生 命 と 生 態 系	2★	2★			2	選択		
	地 球 と 環 境	2★	2★			2	選択		
	物 質 と 化 学	2★	2★			2	選択		
	自 然 と 科 学	2★	2★			2	選択		
キャリア科目	キ ャ リ ア 形 成	2				2	必修		
	コ ミ ュ ニ ケーション 基 礎	2				2	必修		
	日 本 語 表 現 法		2			2	選択		
	イ ン ター ナ シ ョ ン ° I		2			2	選択		
	イ ン ター ナ シ ョ ン ° II			2		2	選択		

区分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考	
		1年	2年	3年	4年	計		
外国語 科目	Advanced English A	2				2	選択	20 科目中 4 科目、 8 単位以上取得、 うち 1, 2 年次の 英語科目 8 単位を 含む。 ただし、外国人留 学生は 22 科目中 4 科目、8 単位以 上、うち 1, 2 年 次の英語科目 8 単 位を含む。  *外国人留学生科目 *外国人留学生科目
	Advanced English B	2				2	選択	
	Advanced English C		2			2	選択	
	Advanced English D		2			2	選択	
	E n g l i s h A	2				2	選択	
	E n g l i s h B	2				2	選択	
	E n g l i s h C		2			2	選択	
	E n g l i s h D		2			2	選択	
	Academic English A			2		2	選択	
	Academic English B			2		2	選択	
	Academic English C				2	2	選択	
	Academic English D				2	2	選択	
	Conversation A			2		2	選択	
	Conversation B			2		2	選択	
	Conversation C				2	2	選択	
	Conversation D				2	2	選択	
	中 国 語 I				2	2	選択	
	中 国 語 II				2	2	選択	
韓 国 語 I				2	2	選択		
韓 国 語 II				2	2	選択		
日 本 語 I	2				2	選択		
日 本 語 II	2				2	選択		
ウェルネス科目	ウェルネス基礎	2				2	必修	
	ウェルネス応用		2			2	選択	

(注) ☆印はいずれかの学年で履修可能。

(3) 専門基礎科目及び専門教育科目

(ア) 情報工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数Ⅰ	2				2	必修
	線形代数Ⅱ	2				2	選択
	線形代数Ⅲ		2			2	選択
	解析Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅱ	2				2	選択
	基礎物理学	2				2	選択
	物理学Ⅰ	2				2	必修
	物理学Ⅱ		2			2	選択
	幾何学とマルチメディア			2		2	選択
	解析Ⅲ		2			2	選択
	基礎電磁気学	2				2	選択
	幾何学的情報数学		2			2	選択
	微分方程式		2			2	選択
	代数学と暗号			2		2	選択
	複素関数論			2		2	選択
情報物理学		2			2	選択	
応用幾何学				2	2	選択	
代数学と符号化				2	2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報基礎学	情報基礎ゼミナール	2				2	必修
	コンピュータリテラシー	2				2	必修
	コンピュータ科学	2				2	必修
	離散数学	2				2	選択
	確率統計論		2			2	必修
	オートマトンと形式言語		2			2	必修
	情報工学特別講義			2		2	必修
	情報理論			2		2	選択
	数値計算		2			2	選択
	情報技術者倫理			2		2	必修
	英語プレゼンテーション			2		2	選択

コンピュータソフトウェア工学	CプログラミングⅠ	2				2	必	修
	CプログラミングⅡ	2				2	必	修
	オペレーティングシステム		2			2	必	修
	データ構造とアルゴリズム		2			2	必	修
	人工知能プログラミング		2			2	選	択
	ソフトウェア工学Ⅰ			2		2	選	択
	ソフトウェア工学Ⅱ			2		2	選	択
	JAVAプログラミングⅠ		2			2	必	修
	情報工学実験Ⅲ			2		2	必	修
	ネットワークプログラミング			2		2	選	択
JAVAプログラミングⅡ		2			2	選	択	
HCIプログラミング			2		2	選	択	
情報工学実験Ⅳ			2		2	必	修	
コンピュータハードウェア工学	電気回路Ⅰ	2				2	必	修
	電気回路Ⅱ	2				2	選	択
	コンピュータアーキテクチャⅠ	2				2	必	修
	電子回路		2			2	選	択
	論理回路		2			2	必	修
	コンピュータアーキテクチャⅡ		2			2	選	択
	情報工学実験Ⅰ		2			2	必	修
	論理設計		2			2	選	択
	情報機器工学		2			2	選	択
	情報工学実験Ⅱ		2			2	必	修
情報ネットワーク			2		2	必	修	
デジタルシステム設計			2		2	選	択	
システムLSI			2		2	選	択	
知能情報メディア工学	マルチメディア工学	2				2	選	択
	データベース		2			2	選	択
	人工知能基礎	2				2	選	択
	自然言語処理		2			2	選	択
	コンピュータグラフィックス		2			2	選	択
	人工知能応用		2			2	選	択
	デジタル信号処理			2		2	選	択
	ロボティクス			2		2	選	択
	ヒューマンコンピュータ・インタラクション			2		2	選	択
	情報セキュリティ			2		2	必	修
音情報処理			2		2	選	択	
画像情報処理			2		2	選	択	
パターン認識			2		2	選	択	
共通	プロジェクト型演習Ⅰ		2			2	選	択
	プロジェクト型演習Ⅱ			2		2	選	択
	情報技術資格Ⅰ		2			2	選	択
	情報技術資格Ⅱ			2		2	選	択
卒業研究				6	6	必	修	







実験・研究	コンピュータソフトウェア実験 計測・回路実験 情報工学基礎実験 情報工学応用実験 卒業実用実 業研究	2 2	4	4	6	2 2 4 4 6	必 必 必 必 必	修 修 修 修 修
共通科目	技術者倫理 通信法規 技術術英語		2	2	2	2 2 2	必 選 選	修 択 択

(ウ) 情報システム工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数Ⅰ	2				2	必 修
	線形代数Ⅱ	2				2	必 修
	数学演習	2				2	必 修
	解析Ⅰ	2				2	必 修
	解析Ⅱ	2				2	必 修
	解析Ⅲ		2			2	選 択
	微分方程式		2			2	選 択
	幾何学とマルチメディア			2		2	選 択
	代数学と暗号			2		2	選 択
	応用幾何学				2	2	選 択
	代数学と符号化				2	2	選 択
	物理学Ⅰ	2				2	必 修
	物理学Ⅱ	2				2	必 修
	情報物理実験	2				2	必 修
複素関数論			2		2	選 択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報基礎工学	技術基礎数学	2				2	必 選 必 選 必 選 必 選 必 選 必 選
	情報技術史		2			2	
	電気工学基礎	2				2	
	論理回路		2			2	
	電子工学基礎	2				2	
	確率統計		2			2	
	情報解析学		2			2	
	情報技術者倫理		2			2	
	テクニカルライティング			2		2	
	アカデミックプレゼンテーション			2		2	
フューチャープランニング		2			2		
情報工学	CプログラミングⅠ	2				2	必 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選
	CプログラミングⅡ	2				2	
	データ構造とアルゴリズム		2			2	
	計算機工学Ⅰ	2				2	
	計算機工学Ⅱ		2			2	
	応用プログラミングⅠ		2			2	
	マルチメディアWeb技術			2		2	
	応用プログラミングⅡ			2		2	
	情報ネットワークシステム		2			2	
	コンピュータグラフィックス			2		2	
	画像処理工学			2		2	
先端技術展望		2			2		
人工知能			2		2		
システム工学	ロボット設計	2				2	必 選 選 選 選 必 選 選 必 選 選 選
	生体情報計測学		2			2	
	センサ情報処理		2			2	
	生体システム論			2		2	
	機械システム論			2		2	
	システム制御工学Ⅰ		2			2	
	システム制御工学Ⅱ			2		2	
	デジタル制御工学			2		2	
	基礎ロボット工学		2			2	
	知能ロボット工学			2		2	
	メカトロアクチュエータ			2		2	
	ロボットシミュレーション			2		2	
	組込みシステム			2		2	
システム開発応用			2		2		

共通	情報リテラシー	2			2	必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修	修 択 修 修 修 修 修 修
	情報技術資格Ⅰ		2		2		
	情報技術資格Ⅱ			2	2		
	フレッシュマンプログラム	2			2		
	情報システム工学実験Ⅰ		2		2		
	情報システム工学実験Ⅱ		2		2		
	情報システム工学概論		2		2		
	情報システム工学実験Ⅲ			2	2		
	情報システム工学実験Ⅳ			2	2		
	卒業研究			6	6		

## (エ) システムマネジメント学科

## A. 専門基礎科目

区 分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数Ⅰ	2				2	選 択
	線形代数Ⅱ	2				2	選 択
	解析Ⅰ	2				2	選 択
	解析Ⅱ		2			2	選 択
	微分方程式			2		2	選 択
	複素関数論			2		2	選 択
	幾何学とマルチメディア			2		2	選 択
	代数学と暗号			2		2	選 択
	代数学と符号化				2	2	選 択
	応用幾何学				2	2	選 択
	基礎数学	2				2	選 択
	確率統計Ⅰ	2				2	必 修
	物理学Ⅰ	2				2	選 択
物理学Ⅱ	2				2	選 択	

## B. 専門教育科目

区 分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考
		1年	2年	3年	4年	計	
システムマネジメント基礎	システムマネジメント基礎	2				2	必 修
	情報リテラシー	2				2	必 修
	プログラミング基礎	2				2	選 択
	情報数理入門		2			2	選 択
	情報数学Ⅰ		2			2	必 修
	情報数学Ⅱ		2			2	選 択
	確率統計Ⅱ		2			2	必 修
	情報処理解Ⅰ		2			2	必 修
	情報処理解Ⅱ		2			2	必 修
	オペレーションズ・リサーチⅠ	2				2	必 修
	システムマネジメント実験		4			4	必 修
システムマネジメント応用				2	2	選 択	

経営システム	経営システム論 経営管理論 経営計算論 オペレーションズリサーチⅡ オペレーションズリサーチⅢ マーケティング論 e-ビジネス論 データ解析 情報システム論 経営シミュレーション ベンチャービジネス論	2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2	必 必 選 選 必 選 選 選 必 選 必 選	修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修
生産システム	インターストリアルエンジニアリング 情報技術史 生産管理論 品質管理論 生産システム実習 オペレーションマネジメント 人間工学 スポーツマネジメント スポーツマーケティング	2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2 2 2 2	必 選 必 選 選 必 選 選 選	修 修 修 修 修 修 修 修
情報メディアシステム	コンピュータ基礎学 メディア科学Ⅰ メディア科学Ⅱ ウェブデザイン DTP入門 コンピュータグラフィックス入門 マルチメディア情報処理 情報処理Ⅲ データベース インタラクティブコンテンツ		2 2 2	2 2	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2	選 必 必 選 選 選 選 選 選 選	修 修 修 修 修 修 修 修 修
関連科目	知的所有権と法 ITパスポート資格 基本情報技術者資格	2		2 2	2 2	2 2	選 選 選	修 修 修
卒研ゼミ	システムマネジメントゼミナールⅠ システムマネジメントゼミナールⅡ 卒業研究		4	4	6	4 4 6	必 必 必	修 修 修

### 3. 社会環境学部

#### 社会環境学科

##### (1) 教養力育成科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考		
		1年	2年	3年	4年	計			
基礎科目	—	知 と 教 養	2				2	選択	18科目中5科目、10単位以上取得。 ただし、外国人留学生は20科目中5科目、10単位以上取得。  *外国人留学生科目 *外国人留学生科目
	文化・社会	日 本 国 憲 法	2★	2★			2	選択	
		市 民 生 活 と 法	2★	2★			2	選択	
		現 代 倫 理	2★	2★			2	選択	
		コミュニケーションの心理学	2★	2★			2	選択	
		日 本 文 学	2★	2★			2	選択	
		歴 史 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		九 州 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		地 理 学 概 論	2★	2★			2	選択	
		社 会 学 入 門	2★	2★			2	選択	
		経 済 学 入 門	2★	2★			2	選択	
	異 文 化 理 解	2★	2★			2	選択		
	地 域 創 生 入 門	2★	2★			2	選択		
	日 本 事 情 I	2				2	選択		
	日 本 事 情 II	2				2	選択		
自然・情報	生 命 と 生 態 系	2★	2★			2	選択		
	地 球 と 環 境	2★	2★			2	選択		
	物 質 と 化 学	2★	2★			2	選択		
	自 然 と 科 学	2★	2★			2	選択		
	コンピ。ュータ入門	2★	2★			2	選択		
キャリア科目	キ ャ リ ア 形 成	2				2	必修		
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 基 礎	2				2	必修		
	日 本 語 表 現 法		2			2	選択		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ 。 I		2			2	選択		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ 。 II			2		2	選択		



区分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考	
		1年	2年	3年	4年	計		
外国語 科目	Advanced English A	2				2	選択	20 科目中 4 科目、 8 単位以上取得、 うち 1, 2 年次の 英語科目 8 単位を 含む。 ただし、外国人留 学生は 22 科目中 4 科目、8 単位以 上、うち 1, 2 年 次の英語科目 8 単 位を含む。  *外国人留学生科目 *外国人留学生科目
	Advanced English B	2				2	選択	
	Advanced English C		2			2	選択	
	Advanced English D		2			2	選択	
	E n g l i s h A	2				2	選択	
	E n g l i s h B	2				2	選択	
	E n g l i s h C		2			2	選択	
	E n g l i s h D		2			2	選択	
	Academic English A			2		2	選択	
	Academic English B			2		2	選択	
	Academic English C				2	2	選択	
	Academic English D				2	2	選択	
	Conversation A			2		2	選択	
	Conversation B			2		2	選択	
	Conversation C				2	2	選択	
	Conversation D				2	2	選択	
	中 国 語 I				2	2	選択	
	中 国 語 II				2	2	選択	
韓 国 語 I				2	2	選択		
韓 国 語 II				2	2	選択		
日 本 語 I	2				2	選択		
日 本 語 II	2				2	選択		
ウェルネス科目	ウェルネス基礎	2				2	必修	
	ウェルネス応用	2				2	選択	

(注) ☆印はいずれかの学年で履修可能。

(3) 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考		
		1年	2年	3年	4年	計			
基礎科目	社会環境学Ⅰ(総論)	2				2	必	修	
	社会環境学Ⅱ(経済と環境)	2				2	必	修	
	社会環境学Ⅲ(法律と環境)	2				2	必	修	
	社会環境学Ⅳ(人間と環境)	2				2	必	修	
	経営学概論	2				2	必	修	
	マクロ経済学	2				2	必	修	
	基幹科目	現代日本政治論Ⅰ	2				2	選	択
		憲法Ⅰ	2				2	選	択
		会計学Ⅱ	2				2	選	択
		環境政策Ⅰ		2			2	選	択
		企業論		2			2	選	択
		ミクロ経済学		2			2	選	択
		民法Ⅰ		2			2	選	択
		人間環境学		2			2	選	択
		環境社会学		2			2	選	択
		環境民俗学		2			2	選	択
		環境経済学		2			2	選	択
		社会心理学		2			2	選	択
ゼミナール	基礎ゼミナール	4				4	必	修	
	ゼミナールⅠ		4			4	必	修	
	ゼミナールⅡ			4		4	必	修	
	ゼミナールⅢ				4	4	必	修	

(注) \*基幹科目より6単位以上修得すること

専門教育科目	展開科目	空間情報学Ⅰ	2				2	選	択
		簿記Ⅰ	2				2	選	択
		空間情報学Ⅱ	2				2	選	択
		国際関係史	2				2	選	択
		ライフスタイルと環境	2				2	選	択
		環境地理学		2			2	選	択
		環境発展論		2			2	選	択
		現代日本政治論Ⅱ		2			2	選	択
		憲法Ⅱ		2			2	選	択
		公共経済学		2			2	選	択
		国際法Ⅰ		2			2	選	択
		財務会計論		2			2	選	択
		自然環境調査法		2			2	選	択
		環境水文学		2			2	選	択
		社会統計学		2			2	選	択
		地域社会学		2			2	選	択
		マーケティング論		2			2	選	択
		民俗学概論		2			2	選	択
アジア経済論		2			2	選	択		



### 別表3 学則39条第1項に係る教職課程に関する科目及び単位数

#### 1. 工学部／電子情報工学科・生命環境化学科・知能機械工学科・電気工学科 (高等学校工業)

(1) 教職に関する科目については、次より25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2  
教育方法論 2 工業科教育法Ⅰ 2 工業科教育法Ⅱ 2 特別活動論 2  
生徒指導論 2 教育相談の基礎 2 教職実践演習(中・高) 2  
教育実習Ⅰ 3

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

工業の関係科目  
職業指導

#### 2. 工学部／生命環境化学科(中学校理科、高等学校理科)

(1) 教職に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は31単位、高等学校教諭一種免許状は25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2  
道徳教育論 2 教育方法論 2 理科教育法Ⅰ 2 理科教育法Ⅱ 2  
理科教育法Ⅲ 2 理科教育法Ⅳ 2 特別活動論 2 生徒指導論 2  
教育相談の基礎 2 教職実践演習(中・高) 2  
教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

##### イ 中学校理科

物理学  
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)  
化学  
化学実験(コンピュータ活用を含む。)  
生物学  
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)  
地学  
地学実験(コンピュータ活用を含む。)

##### ロ 高等学校理科

物理学  
化学  
生物学  
地学  
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、  
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」

#### 3. 情報工学部(中学校数学、高等学校数学)

(1) 教職に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は31単位、高等学校教諭一種免許状は25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2  
道徳教育論 2 教育方法論 2 数学科教育法Ⅰ 2 数学科教育法Ⅱ 2

数学科教育法Ⅲ 2 数学科教育法Ⅳ 2 特別活動論 2 生徒指導論 2  
教育相談の基礎 2 教職実践演習（中・高） 2  
教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

代数学  
幾何学  
解析学  
「確率論、統計学」  
コンピュータ

#### 4. 情報工学部（高等学校情報）

(1) 教職に関する科目については、次より25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2  
教育行政学 2 教育方法論 2 情報科教育法Ⅰ 2  
情報科教育法Ⅱ 2 特別活動論 2 生徒指導論 2  
教育相談の基礎 2 教職実践演習（中・高） 2 教育実習Ⅰ 3

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

情報社会及び情報倫理  
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）  
情報システム（実習を含む。）  
情報通信ネットワーク（実習を含む。）  
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）  
情報と職業

#### 5. 社会環境学部（中学校社会、高等学校公民）

(1) 教職に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は31単位、高等学校教諭一種免許状は25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2  
道徳教育論 2 教育方法論 2 社会科教育法 2  
社会科・公民科教育法Ⅰ 2 社会科・公民科教育法Ⅱ 2  
特別活動論 2 生徒指導論 2 教育相談の基礎 2  
教職実践演習（中・高） 2 教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

- イ 中学校社会  
日本史及び外国史  
地理学（地誌を含む。）  
「法律学、政治学」  
「社会学、経済学」  
「哲学、倫理学、宗教学」
- ロ 高等学校公民  
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」  
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」

「哲学、倫理学、宗教学、心理学」

6. 共通

教科又は教職に関する科目については、計16単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

#### 別表 4

##### 学則第 47 条に係る検定料、入学金および授業料等（単位：円）

###### 1 - 1 検定料

検定料	センター試験利用 入学試験検定料	センター併用型 入学試験検定料
30,000	15,000	5,000

###### 1 - 2 検定料併願割引

3教科型入学試験を2日間とも受験する場合の検定料	3教科型入学試験を1日とセンター試験利用入学試験(前期)を受験する検定料	3教科型入学試験を2日間とセンター試験利用入学試験(前期)を受験する検定料
40,000	35,000	50,000

センター試験利用入学試験は、4学科併願までは定額。5学科目の併願から1学科追加併願ごとに5,000円の検定料とする。併願割引は、同時出願の場合にのみ適用する。

###### 2

	入学金	授業料	施設 設備費	実験 実習費	図書費	学生 厚生費
工学部・ 情報工学部	200,000	830,000	270,000	88,000	10,000	19,000
社会環境学部	200,000	670,000	170,000	—	10,000	19,000

ただし、学則第 47 条別表 4 - 2 の規定に拘らず、平成 27 年度以前の入学生については次のとおりとする。

	入学金	授業料	施設 設備費	実験 実習費	図書費	学生 厚生費
工学部・ 情報工学部	220,000	780,000	250,000	88,000	10,000	19,000
社会環境学部	220,000	630,000	150,000	—	10,000	19,000